

原文雄元県議会議員が旭日双光章を受章

平成 11 年から 3 期にわたり県議会議員を務めた原文雄元県議が、平成 26 年秋の叙勲で旭日双光章を受章しました。この受章は、県と市を結ぶパイプ役として、地方自治の発展に貢献した功績によるものです。

県と市とのパイプ役として活躍

原元県議は、平成 11 年に初当選して以来、3 期にわたり県議会議員を務め、県と市を結ぶパイプ役として活躍しました。その間、厚生委員会委員長や県民委員会委員長などの要職を歴任し、地方自治の発展に尽力しました。特に当市に関わることで、市都市計画審議会委員を務めたほか、裾野警察署の新設やシルバーワークプラザの新築、県道仙石原新田線の整備、各種災害復旧や河川・道路など基盤整備に力を注ぎました。秘書時代には、東名裾野インターチェンジの開設や特急あさぎり号の裾野駅停車などにも尽力しました。伝達式は、11 月 4 日(火)に県庁で、11 月 11 日(火)には、皇居宮殿豊明殿で天皇陛下への拝謁の儀にのぞまれました。

◆原文雄元県議の主な経歴

期 間	内 容
平成11年4月 ～平成21年12月	県議会議員
平成12年5月 ～平成13年5月	建設委員会副委員長
平成14年5月 ～平成15年4月	企画生活文化委員会副委員長
平成15年5月 ～平成16年5月	総務委員会副委員長
平成16年5月 ～平成17年5月	厚生委員会委員長
平成19年5月 ～平成20年5月	県民委員会委員長

あいさつ 市民の皆さんに心から感謝



この度、平成 26 年 11 月 3 日の秋の叙勲に際しまして、はからずも旭日双光章拝受の栄に浴すことになり、身に余る光栄と心から感謝を申し上げます。思い起こせば、国会議員・労働大臣の政策秘書として 24 年、その経験を郷土発展のために尽力したいという一心で県議会議員に立候補したのは、平成 11 年のことでありました。以来、微力な私の活動を支えてくださった多くの市民・関係者の皆様

に心から感謝申し上げます。そして、このたびの受章は私を支えてくださった多くの市民そして関係者の皆様と、受章を目前に 10 月 22 日に急逝した妻とし江の内助の功と家族に支えられた受章であると思っております。妻とし江と受章式、皇居での天皇陛下との拝謁の儀に 2 人共々で出席することはできませんでした。めげることなく、今後はこの榮譽に恥じないよう一県民として、微力ではありますが、一層精進してまいります。 原文雄

春・秋 連続受章、保護司の廣瀬秋雄さんと市野義久さんが藍綬褒章



藍綬褒章 (更生保護功績)
元保護司 廣瀬 秋雄さん
(深良新田・78 歳)

平成 4 年から今年 5 月までの 22 年間にわたり、保護司として尽力し、過ちを犯した方々の社会復帰や再犯防止に力を注ぎました。沼津地区保護司会裾野支部長を務め、支部組織の育成に努めました。(今年 5 月で定年のため退任しました。)

春

秋



藍綬褒章 (更生保護功績)
保護司 市野義久さん
(公文名 1 区・76 歳)

平成 5 年から現在までの 21 年間にわたり、保護司として活動し、過ちを犯した方々の社会復帰や再犯防止に力を注いでいます。沼津地区保護司会副会長や同会裾野支部長などを歴任し、後進の育成にも尽力しています。